

京都市消費生活基本計画の策定に当たって

～ 京都から始めよう 未来へつなぐ消費生活 ～

京都市長

門川 大作



暑い日に水をまいて温度を下げる「打ち水」、細やかな心配りがうれしい「門掃き」、京都のまちを歩いていると出会う情緒ある風景です。でも、何気ないこうした自然な“ふるまい”の中には、京都が永年にわたり育んできた知恵が、いっぱい詰まっています。

「もったいない」、「しまつの心」などの言葉に表されるように、京都は昔から、ものを徹底的に使い切り、無駄にしないことを美意識として大切にしてきました。古くなったきものも、仕立て直して三代にわたって大切に受け継ぎ、季節の素材を余すことなく使い切って、「おばんざい」の文化を生み出してきた京都。四季折々に美しい山紫水明の自然との調和を図りながら、豊かな暮らしや文化を磨き上げてきた、この京都にこそ私は、私たちが歩むべき未来があると確信しています。

この度、京都市では、市民の皆様の消費生活における安心・安全を総合的な取組で守り抜く、京都市消費生活基本計画（第2次計画）を策定致しました。

これは、平成23年度から10年間の京都の未来像と主要政策を明示した「はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン（京都市基本計画）」に掲げる「地域が支え合い、だれもが安心してらせるまちづくり」を進めるための消費生活に関する分野別計画であり、京都に息づく暮らしの知恵や心を大切にしたい市民ぐるみの取組によって、安心・安全の消費生活や持続可能な社会を実現し、世界にそのモデルを発信していこうとするものです。

今日、食の安全・安心という消費者の信頼を揺るがす事件や、高齢者の資産を狙った悪質商法など、市民の皆様の暮らしを脅かすさまざまな問題が生じています。この計画では、そうした現状や課題を見据え、消費生活の将来像や暮らしの在り方を展望しながら、今後10年間に重点的に取り組むべき具体的な施策をまとめていきます。

京都市では、この計画のもと、市民の皆様の消費生活の安心・安全を徹底的に守り抜き、「日本に京都があってよかった」「京都に住んでいてよかった」と実感していただけるまちづくりを、全力で進めて参ります。

結びに、計画の策定に当たり御尽力いただきました関係者の皆様、そして、貴重な御意見をいただいた市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

さあ、皆さん！未来へつなぐ消費生活を京都から始めましょう！